

- 11月27日に開催された第17回エネルギー・環境会議(国家戦略室)において、『グリーン政策大綱(骨子案)』が示された。【ポイントはP4参照】
- 上記に関して、11月14日に開催された第33回総合資源エネルギー調査会基本問題委員会(経済産業省)においても『革新的エネルギー・環境戦略』を踏まえた『グリーン政策大綱』の策定に向けての議論を実施。



### 『グリーン政策大綱』の目的

- 『日本再生戦略(平成24年7月31日閣議決定)』の重点施策(グリーン部素材、次世代自動車、蓄電池、海洋、スマートコミュニティ)の目標や施策の全体像を示す。
- 『革新的エネルギー・環境戦略(平成24年9月14日)』の中で記載されている節電・省エネ、再生可能エネルギー等の「グリーンエネルギー革命」の工程の具現化を図る。

- 大綱に盛り込むべき内容(第33回総合資源エネルギー調査会基本問題委員会資料より)
  - ① グリーン成長実現に向けた取組みの具現化
  - ② 節電・省エネ、再エネの導入量の目標
  - ③ 目標達成に向けたロードマップの設定
  - ④ 技術開発・普及等の目標とそれを実現するための予算・規制改革等
  - ⑤ 日本再生戦略、革新的エネルギー・環境戦略の趣旨を踏まえて特に先導的に進める分野を明示 等
- 作業スケジュール  
来年度予算(案)の編成作業等も見ながら、大綱案を作成する方向。

## (参考1) 日本再生戦略の概要について

- 東日本大震災後の日本再生のために日本政府が定めた2020年までの成長戦略。7/31に閣議決定。
- **グリーン【エネルギー・環境】、ライフ【健康】、農林漁業【6次産業化】**の3分野等に優先的に取り組む方針。平成25年度の予算編成から、上記関連事業に重点配分する。なお、3分野の概要は下表参照。
- 上記3分野を含む11の戦略分野で、約630万人の雇用創出を盛り込む。

分野	重点施策	2020年までの主な目標
<b>グリーン成長戦略</b> 【エネルギー・環境】	グリーン部素材、次世代自動車、蓄電池、海洋資源、スマートコミュニティ	50兆円以上の環境関連新規市場、140万人以上の環境分野の新規雇用、新車販売に占める次世代自動車の割合50%、世界の蓄電池市場の50%獲得...
<b>ライフ成長戦略</b> 【健康】	革新的医薬品・医療機器、先端医療推進、バイオバンク、ロボット技術開発...	新市場約50兆円、新規雇用284万人、海外の関連産業市場約20兆円獲得
<b>農林漁業再生戦略</b> 【6次産業化】	戸別所得補償制度の推進、新規就農の促進、6次産業化...	食料自給率カロリーベース50%、木材自給率50%以上、魚介類の自給率70%、食品関連産業の市場規模120兆円

## (参考2)革新的エネルギー・環境戦略の概要について

- 省エネルギー・再生可能エネルギーなどのグリーンエネルギーを最大限に引き上げることを通じて、原発依存度を減らし、化石燃料依存度を抑制することを目指す。

### 1. 『原発に依存しない社会の一日も早い実現』

→40年運転制限の厳格な適用、規制委員会の安全確認を得たもののみ再稼動、新設・増設は行わない。

### 2. 『グリーンエネルギー革命の実現』

→『グリーン政策大綱』において具体的な取り組み方針やロードマップを示す。

節電: 2030年までに1, 100億kWh以上の削減

省エネ: 2030年までに7, 200万kl以上の削減

再生可能エネルギー: 2030年までに3, 000億kWh以上の開発

### 3. 『エネルギーの安定供給』

→火力発電、コジェネ(熱)の高度利用、次世代エネルギー関連技術、安定的かつ安価な化石燃料等の確保及び供給

(上記の3本柱に加えて)

4. 電力システム改革の断行(ex:市場の競争促進、発送電分離)

5. 地球温暖化対策の着実な実施

## (参考3)グリーン政策大綱(骨子)のポイントについて

- 革新的エネルギー・環境戦略、日本再生戦略(グリーン成長戦略)を踏まえ、グリーンエネルギー拡大のロードマップを示すもの。
- 具体的には、下記の先導的5分野において、重点施策を優先的に実施する。

### グリーンエネルギー革命実現に向けた先導的5分野

グリーンエネルギーの拡大及びグリーン産業の成長に資する先導的5分野において、重点施策を優先的に実施する

